

トートーメーと 重箱に関する疑問



●Answer

さんにおういん きゅうようじ ぜんじゅうしよく
沖縄市・コザ山 仁王院 球陽寺 前住職
帰依 龍照 (きえ りゅうしょう)

トートーメーの 「筑登之親雲上」って誰？

Q うちのトートーメーの中に他人の札が入っています。筑登之親雲上？そもそも読めないし、これは誰ですか？ 知らない人です。札を外してもいいですか？
(那覇市Yさん 50代男性)

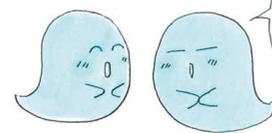
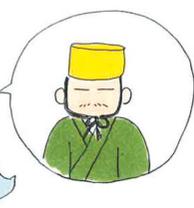
A Yさん、この質問、よく尋ねられます。たしかに読めないですよ。筑登之親雲上は、「チクドウンペーチン」「チクドノペークミー」などと読みます。

筑登之親雲上とは

筑登之親雲上とは、琉球王国の士族(サムレー)の位階(位)の名称を表しています。士族の位階には、殿内(トウンチ)・里之子(サトウヌシ)・筑登之家系があり、筑登之家系では、年齢とともに、子(シー)から筑登之に、筑登之から筑登之親雲上に昇位していったのだそうです。一部の方々は、筑登之親雲上から親雲上まで昇位したともいいます。

立口(村へ家)建て・タチクチ(と)筑登之親雲上

トートーメーの中に筑登之親雲上の札があるとき、多くは筑登之親雲上の前に、〇〇と名前が記載され、



〇〇筑登之親雲上となりませう。また、筑登之親雲上の奥様は、家筋(ヤーシジ)の筋目を表すため、名前ではなく、〇〇筑登之親雲上之妻と記載されることもあります。

この筑登之親雲上は、立口(村へ家)建て・タチクチという元祖(グワンズ)・初代、または二世・三世あたりのご先祖(ウヤファーフジ)様の尊称として用いることが多く、トートーメーでいいますと、正面向かつて右側(グソヌヒジヤイ(後生の左))か、中央の歸眞靈位(きしんれい)の札の左右の上座に安置(ウンチケー)される傾向があります。

これは、里之子・里之子親雲上・筑登之親雲上の札があるときも同じ考え方になります。ですので、筑登之親雲上はYさん家の大切なご先祖様になりますから、その札を外しちゃダメです(笑)。それに、トートーメーの札を1枚でも外したら、隙間ができて、カタカタしてしまいますよ(笑)。

重箱の「ウチジヘイシ」の作法

Q 重箱のウチジヘイシ(二部返し交換)をしているとき、「このやり方では御願不足(ウグワンブスク)だよ」と、よく祖母から笑われます。重箱の自身を交換するだけなのに、祖母のチェックポイントはどこなのでしょう？
(糸満市Uさん 40代女性)

A Uさんがおっしゃる通り、重箱などのお供え物(ウサギムン)の自身を二部ひっくり返したり、交換することをウチジヘイシといいます。儀式法要を二回以上お勤めする場合、その都度、重箱は違うものに差し替えなければならぬという考え方があります。

でも、家族や親族の人数が少ないとき、用意しお供えした数回ぶんの重箱をお下げ(ウサンデー)しても、食べきれず、もったいないことになる場合があります。このようなき、二回目の重箱の中身の部をひっくり返したり、交換することにより、先ほどとは違う重箱とイメージして、二回目以降の新たな重箱と見なす沖縄のジンブンが、ウチジヘイシという作法です。

個数のマイナスII御願不足

さて、ウチジヘイシを行うとき、Uさんのおばあちゃんが

気をつけなければならぬことがあります。これが、個数のマイナスII御願不足という考え方です。

これは、部を交換するとき起こりうる可能性があります。例えば、餅重(ムーチンウ)というお餅の重箱の15個あるお餅のうち、1個を重箱から抜き取り、新しいお餅を重箱に差し込む場合、15個あるお餅が、交換するほんの瞬間だけ14個になる、このマイナス1個が、御願が不足するといふ考え方です。

これを未然に防ぐには、15個あるお餅のうち1個を抜き取るのではなく、二度隣のお餅の上に返して置き、その隙間に新しいお餅を差し込んでから、返して置いた最初の1個のお餅をお下げするという手順があります。

このように、度、返して置くことから、ウチジヘイシの語源は、ケエシ(ケーシ)、つまり「部返し」の「返し」ではないかともいわれています。

